【高等部】

ホームルーム活動（人権）学習指導案

1　主題　互いを尊重した人間関係を築くために
　　―感情とのつきあい方について考えてみよう―

2　主題設定の理由（省略）

3　ねらい

・自分を振り返り見つめながら，それぞれの経験や知識を出し合う中で，新たな気付きを発見することができる。

・それぞれの感情表現に差異があることに気付き，互いの気持ちを正しく理解すること，自分の考えを素直に表現することができる。

4　指導計画（全８時間）

（１）　これまでの学習

・考え方について考えてみよう（思い込み，決めつけ，偏見とは）・・・・・・・・２時間

・コミュニケーションについて考えてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２時間

（２）　現在の学習

・感情との付き合い方について考えてみよう・・・・・・・・・・・・・・２時間（本時１／２時間）

（３）　これからの学習

・人が人を理解するということについて考えてみよう　・・・・・・・・・・・・・・・１時間

・今の自分を見つめてみよう（学習したことをどのように生活に活かしたか）・・・１時間

5　本時の学習

（１）　目標

・自他の感情を身体の状態や表出の仕方から考えることができる。

・それぞれの感情表現に差異があることを自覚し，互いの気持ちを正しく理解すること，自分の考えを素直に表現することができる。

（２）　普遍的な学習のテーマ・・自己肯定感，仲間づくり
　　個別人権課題名・・・・・障がい者

（３）　展開

展開	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 （５分）	１　本時の学習内容について知り，本時の目標を確認する。	１　本時の学習内容を説明し，本時の目標を示す。	１　本時の学習内容を理解できる。 （知識的側面）
展開 (40 分)	人はどうやって相手の気持ちを読みとっているのか？		
	２　感情の種類について考える。	２　いくつか感情の種類を提示し，その他にもあるか考えるよう促す。	２　意欲をもって参加できる。（価値的・態度的側面）

	３　最近，感情が動いたエピソードを書き，発表する。 ４　喜びや怒りなどの感情をもったとき，人はどのような状態になるのかについて考え，付箋に書く。 ５　喜び，怒りそれぞれについて，３人で話し合い，似ている付箋をグループに分ける。 ６　普段自分が感情とどのように付き合っているのか考え，発表する。	３－１　ホワイトボードを活用するようにする。 ３－２　そのときの自分の身体の状態（発語や手話も含む）はどうだったか考えるように促す。 ４　自分の経験，知識，考えていることなどを思い付くまま付箋に書くよう促す。 ５　友達の表現を知ることで，視点の違いや様々な表現があることに気付けるよう促す。 ６　日頃自分がよくする行動，絶対にしないと思う行動，自分では考えてもみなかった行動に分けるように促す。	３　普段の自分の自己表現の特徴に気付くことができる。（知識的側面） ４　考えを付箋に書くことができる。（価値的・態度的側面） ５　自分の考えを伝えたり，友達の意見を聞いたりしながら，コンセンサスを図ることができる。 （技能的側面） ６　自分の考えをまとめ，発表することができる。 （技能的側面）
まとめ （５分）	７　本時の学習を振り返る。	７　本時の振り返りを通じて，これからの生活場面でどう活かすことができるかを考えるよう促す。	７　本時の学習を振り返ることで友達の考えを理解し，自分の考えを素直に表現しようとする意欲を高める。（価値的・態度的側面）

＊破線部分は教育活動全体における配慮事項（合理的配慮）

・今何を考えるときなのかがわかるよう，板書を整理する。

・手話，指文字，書字等による総合的な情報保障や，提示物などによる適切な視覚情報を準備する。

・学習の流れの確認や，自己の考えのまとめの手引きとなるよう，ワークシートを活用する。

・生徒の発表の際には，手話の読み取りが苦手な生徒にも正確に伝わるよう，小ホワイトボードを活用させる。